

1 開会

2 会長挨拶

省略

3 本日のスケジュールについて

《会長》

始めに、事務局より本日のスケジュールについて説明願います。

《事務局》

それでは、本日の日程等について説明いたします。

次第の1ページにありますタイムスケジュールにそって1教科ごとに入室していただき別冊1「小委員会調査報告書」に基づき各教科書の調査・研究結果の報告をいただきます。各教科の報告をすべて受けたのち、教科ごとに採択を行ってまいります。

別冊2には前回中学校用教科用図書を採択した議事録を掲載しております。

次第の2ページに現在使用している小学校用教科書一覧、3ページに中学校用教科書一覧を掲載しております。

4ページからは各市町村における教科書展示会の開催状況と、寄せられた意見を掲載しておりますので参考としながら進めていただきたいと考えております。

全教科の採択が終了しましたら、事務局より各市町村・教育委員会における採択手続、学校教育法則第9条の規定に基づく採択手続、情報公開等について説明を行い全体の終了と考えております。

《会 長》

説明に対して質問等はございませんか？

《委員》

質問なし。

《会長》

それでは各教科の報告者からの報告をしていきたいと思っております。

4 調査・研究結果報告及び教科用図書採択

別紙のとおり

## 《数学》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

### (2) 質疑

○数研出版の教科書を見るとこれからの数学探求ノートが挟まっているが、この評価については何か意見はあるか。

→そのような別冊がついていて、内容を見ると基本的に発展的な内容を取り上げるノートになっていて直接的に主体的・対応的学びに結び付くかは関係がないこともないが、それほど強い結び付きではないと判断している。

○算数から数学への繋がりという部分で、特に気づいたところはないか。

→小中連携の部分に関しては、使う生徒の立場に立って考えたときに小学校で採択されている教科書と中学校で採択されている教科書が同じ場合は、同じような表記等なので違和感がなく使用できると考える。

○出版社が変わった場合、これまでの教科書の系統・特色等に違いがでてくるが、どう考えるか。指導側として留意する点を教えていただきたい。

→教材研究を進めることにより、教師力の向上につながると考えるので心配ないと思う。1単元を1単位時間の中で必ずしもすべてやるのではなく、内容の濃い部分は時間を使って継続して学習をさせるなど、教師の力量次第と思う。

### (3) 協議

○小・中連携した出版社の方が良いのではないか。

○東京書籍はレベルが高く感じるが、委員長の話を聞く限り、教師の力量に関わってくる所もあり、指導計画等を作成するにあたって、そこを配慮すれば問題無いという説明もあった。

### (4) 採択

○内容のまとまりごとに問題解決の過程を振り返る「学びをふり返ろう」を掲載した「学びをひろげよう」において、数学と実社会や職業とのつながりを伝えたりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○別冊「数学マイノート」では、ノートづくりの工夫や振り返りの質を上げられるよう工夫されており、言語能力を高められることが可能な構成となっている。

このような理由から「東京書籍」とする。(全会一致)

## 《国語》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

### (2) 質疑

○古典分野において特徴的な点はあったか。また、漢字の読み仮名が振られていない出版社があったが、意見を聞かせていただきたい。

→物語の主要なストーリーが取り上げられているものと、その途中の一部を取り上げているものと2種類あるが、入試等で実際に出題されるのは後者である。

そういった一部を取り上げているのは、光村図書。

漢字については、別枠で指導することが多いので多少の記述の差で、子どもたちの学習が左右されることはないように思う。

○出版社が変わることで、小学校で採択している教科書よりも、難しく感じることもあるのではないか。

→教育出版のSDGsの観点はいいと思う。ただ、内容が易しい分、身につけなければいけない力がやや不明確のように感じる。難易度については、小学校からの接続性という観点でいえば大きな支障にはならないと思う。

しっかりとした教材研究を行うなど、指導する教員が工夫することが重要であり、出版社による難易度は関係ないと思う。

### (3) 協議

○光村図書は興味深い内容が盛り込まれている。

○小学校と同じ出版社にした方が違和感無く使えるのでは。

○中学校になると専科がいるので、専門的なことを丁寧に教えることが出来ると思うので、同じ出版社にする必要はないように感じる。

### (4) 採択

○「知識及び技能」に示された内容を確実に押さえ、それを活用して各領域の言語活動を行うことで「思考力、判断力、表現力等」を無理なく高めていける内容となっている。

○学習の参考となる資料を収録した「広がる学び 深まる学び」を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

このような理由から「光村図書」とする。(全会一致)

## 《書写》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

特になし。

(3) 協議

○内容に大きな差異はない。

○国語と書写は、指導上の関連から、同一者とした方がよい。

(4) 採択

○冒頭部分に文字の特徴や書き方のポイントを、生徒が考えたり話し合ったりする活動を位置づけ、中学校で初めて学習する行書の主要教材は4ページ構成とし、基礎・基本がしっかりと習得することが可能な内容となっている。

○全教材に、学習のポイントが一目でわかる「学習の窓」を設定しており、いつでも振り返りが出来るような構成となっている。

このような理由から「光村図書」とする。(全会一致)

## 《社会(地理的分野)》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

### (2) 質疑

○地理・歴史・公民において、出版社が三者三様になった場合の懸念事項があれば教えていただきたい。

→各種目で出版社が異なることに問題はないが、宗谷管内は小規模校が大多数のため、1人で全てを指導することとなるため、同じ出版社の教科書の方が好ましいのではないかと思う。

### (3) 協議

○地理・歴史・公民を異なる出版社で選択するのはどうか。

○1人の先生が社会科を全て教えるので、出版社は揃えた方が望ましいように感じる。

### (4) 採択

○「日本の諸地域」において、北海道の自然の特色を生かした産業を取り上げたり、アイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○各単元の導入部において、単元全体を貫く「探究課題」を設定する活動や、探究課題の解決を補助する問いを軸に構造化された課題解決的な学習活動を掲載するなど主体的に学習に取り組むことができるような構成となっている。

このような理由から「東京書籍」とする。(全会一致)

## 《社会（歴史的分野）》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

### (2) 質疑

○日本史を含む近代史の内容が充実している出版社について、教えやすさの観点ではどう考えるか。

→近代史については、教育出版と東京書籍が充実していて教えやすいかと思う。

○歴史において山川書院が読んでいて面白いと感じたが、何か意見はあったか。

→山川出版の教科書内容は詳細で充実しているが、中学校の教科書としては難しいかもしれない。

○地理、歴史、公民において、出版社が三者三様になった場合の懸念事項があれば教えていただきたい。

→各種目で出版社が異なることに問題はないが、宗谷管内は小規模校が大多数のため、1人で全てを指導することとなるため、同じ出版社の教科書の方が好ましいのではないかと思う。

### (3) 協議

○地理・歴史・公民を異なる出版社で選択するのはどうか。

○1人の先生が社会科を全て教えるので、出版社は揃えた方が望ましいように感じる。

○歴史については、各社ともに、特徴的な差異は少ない。

### (4) 採択

○「アイヌ文化とその継承」として、儀式や神話、生活の様子などの資料を掲載して13世紀以降のアイヌ文化の成立と展開、アイヌ文化継承の動きを説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○「チェック」で、一単位時間の学習の終わりに基礎事項を確認する活動や、「トライ」で、要約や説明により学習課題を解決する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような構成となっている。

このような理由から「東京書籍」とする。(全会一致)

## 《社会（公民的分野）》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

### (2) 質疑

○地理・歴史・公民において、出版社が三者三様になった場合の懸念事項があれば教えてください。

○各種目で出版社が異なることに問題はないが、宗谷管内は小規模校が大多数のため、1人で全てを指導することとなるため、同じ出版社の教科書の方が好ましいのではないかと思う。

### (3) 協議

○地理・歴史・公民を異なる出版社で選択するのはどうか。

○1人の先生が社会科を全て教えるので、出版社は揃えた方が望ましいように感じる。

○地理・歴史については、各社ともに、特徴的な差異は少ないが、東京書籍の公民は、まとめの活動が探求的だと感じた。

### (4) 採択

○芽室町の議会改革を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、旭川市のアイヌ語の地名表示板の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○「導入の活動」で、単元の学習課題を立て、学習内容への興味・関心を高める活動や、「まとめの活動」で、学習内容を整理しながら単元の学習課題を解決する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような構成となっている。

このような理由から「東京書籍」とする。（全会一致）

《地図》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○帝国書院の教科書についての印象を教えてください。

→帝国書院は採用実績もあり、充実した内容になっている。サイズが大きいので子どもたちも間違わずに持ってくるができるのではないかと。

(3) 協議

○帝国書院はサイズが大きく、稚内市から札幌市まですぐ見えるようになっている。

○東京書籍には、日本の各地の気温と降水量で、稚内市のデータが載っている。

○地理と地図はセットで考えた方が良くはないか。

○1人の先生が社会科を全て教えるので、出版社は揃えた方が望ましいように感じる。

(4) 採択

○世界の各州に生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、北海道地方の資料において開拓の歴史とアイヌ語地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○「地図帳の使い方」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連性の深い内容を示す矢印マークを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような構成となっている。

このような理由から「帝国書院」とする。(全会一致)

## 《理科》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

### (2) 質疑

○東京書籍の縦長のサイズについて何か意見はあるか。

→東京書籍の教科書についてはスリムで縦に見やすいこと、机の上で学習する際に使えるスペースが広いという点が利点だと思う。ただ他の教科書と違うためカバンに収納する際など、生徒目線ではどう感じるかという意見もあった。

○教科書を片手で持ちながら実験をすることを考えたときのサイズ感について何か意見は出たか。

→生徒が教科書を持ちながら実験をすることは少ないだろうということで議論にはならなかったが、東京書籍の教科書だと実験スペースが広くとれるという意見は出ていた。

○特徴的なポイントがある出版社があれば教えてほしい。

→内容・排列等についてはそれぞれしっかりとした形で取り上げられており、系統的・発展的なものも取り扱い方は多少違うが問題はない。

教科書本体、文字の大きさの違いについて意見が多く出たが、個人の好みもあり、意見をまとめるには至らなかった。

○理科の教科書の出版社が何十年と変わっていないが、変更した場合の課題等があれば教えていただきたい。

→生徒は学年が変わった段階で内容も変わるので、出版社が変わったとしても教員の授業の進め方次第で課題は解消できると思う。

### (3) 協議

○東京書籍の教科書は縦長の形になっていて、教師が教えやすいようになっている。

○東京書籍のサイズ感は良いが、従来から使われている教科書の大きさの方が使い勝手が良いのでは。

○内容についての差異は、ほとんど無いように感じた。

○小学校からの継続性を関連付けられた教育出版が良いのでは。

### (4) 採択

○単元において、生徒が主体的に疑問を見つける活動「やってみよう」を設定したり、単元末において、理科の学習と日常生活の関連を紹介する科学読み物「ハローサイエンス」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○探究の進め方について説明するページを参照できるようにしたり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような構成となっている。

このような理由から「教育出版」とする。(全会一致)

## 《保健体育》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

### (2) 質疑

○心の健康について記述が充実している教科書はあるか。また、ゲームやスマホ・パソコンのやりすぎによる健康への影響についての記述がある教科書はあるか。

→心の健康については、思春期に関する記述など、どの教科書にも採用されている。

ゲーム脳などの生活に関して大きく取り上げている教科書はなかった。

○出版社による差はないということか。

→学研教育みらいのページ数が多いこと、大修館書店では「がん」に関する記述を多く扱っていること以外に、ほとんど差異はないと思う。

### (3) 協議

○各社とも内容に大きな差はない。

### (4) 採択

○巻頭に「オリンピック・パラリンピック」や「共生」などを切り口とした口絵を掲載したり、各章末に章の学習内容に関連した資料を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○日常経験などから課題の発見につながる発問を設定したり、課題の解決に結び付く、ヒントなどをキャラクターの吹き出しで示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような構成となっている。

このような理由から「東京書籍」とする。(全会一致)

《音楽(一般)》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

○君が代の説明の仕方に若干の違いがあると感じたが話題になったか。

→説明に関しては文科省、道教委から示されている内容であり、根本的には変わらない。

教育出版の教科書は君が代の紙質が良くなっているという意見は出た。

(3) 協議

○各社とも内容に大きな差はない

(4) 採択

○「Let's Sing!」で表現するための技能を提示したり、作者の思いに触れるようにして、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「比べてみよう」で学習した教材を比較して表現する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような構成となっている。

このような理由から「教育出版」とする。(全会一致)

《音楽(器楽)》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

特になし。

(3) 協議

○各社とも内容に大きな差はない

(4) 採択

○多様な音楽に触れることができるように、世界の諸民族の楽器を掲載したり、箏と篠笛の家元からのメッセージにより、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「何が同じで、何が違う？」において、吹く楽器と弾く楽器の共通性と固有性を考えて特徴をまとめる活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような構成となっている。

このような理由から「教育出版」とする。(全会一致)

## 《美術》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

### (2) 質疑

○日本文教出版は三分冊、他は二分冊だが、使い勝手について何か議論はあったか。

→使い勝手について議論はなかったが、三分冊を実際に使用するとき2・3年生(上・下)だと、上・下巻二冊を応用的に使う必要があるという意見は出ていた。使いにくいということではないが、生徒が常に冊数を持つ必要がある。

○日本文教出版には原寸大の記載があるが、生徒に対して教科書の中で本物の大きさを示すことについて何か意見はあったか。

→原寸大については話題にならなかったが、出版社によって紙の質を変えて本物に近いものになっているものがあつたほか、QRコードの読み取り先の画像や作業の仕方の記載などはどの出版社も良かった。

○教科書を比較して、日本的・世界的に有名な作品がQRコードを含めて多く掲載されている出版社はあるか。

→どの教科書も押さえておきたい作品は掲載されていたが、光村図書は現代的で他社で扱っていないような画家や作品が掲載されているという話題が出ていた。

○主体的な学びをナビゲートすることに適している教科書の優劣を議論したか。

→どの教科書の巻末にも、生徒がそれを見ながら挑戦したくなるような資料が掲載されていた。美術免許の有無に関わらず教えやすそうな教科書もあった。

### (3) 協議

○質疑にも出ていたが、日本文教出版は三分冊なので二冊持たなければならない。

○日本文教出版は原寸大で描かれているページや、大きなものを見開きで描かれていて感性が豊かになるのではないか。

### (4) 採択

○全学年の巻末で、「学びを支える資料」として、技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり、第2・3学年の暮らしに息づくパブリックアートの鑑賞で、道内の公園にある屋外彫刻を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、造形的な視点を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような構成となっている。

このような理由から「日本文教出版」とする。(全会一致)

## 《英語》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

### (2) 質疑

○小学校英語とのつながりを配慮している会社があれば教えていただきたい。

→東京書籍の教科書は使われる文法が教員にとって使いやすい詳しい内容になっている。  
教員自身の勉強にもつながるといった意見があった。

○東京書籍のサイズについて意見は出たか。

→大切な文法事項を1ページに収めるという意味では、大きい方が見やすくわかりやすいという意見があったが、他の教科書と比べて一つだけ大きいことについて否定的な意見もあった。

○文法的な事項や小学校からの系統性も含め考えたときに、東京書籍の難易度はどうか。

→東京書籍のレベルは高いと感じるという意見がでたが、それは教員側の問題であって生徒側には関係ないとする。

○来年度から加わる仮定法や現在完了進行形など新しい文法事項を生徒が理解するときに教えやすい、わかりやすいという情報があれば教えていただきたい。

また、教科書を読み物として考えたときに子どもが興味を持ちやすい内容のものがあれば教えていただきたい。

→教員自体の勉強になり、かつ扱いやすさで考えると東京書籍の文法のまとめ方が良いと感じる。興味を持ちやすいかどうかは教員の指導によると考える。

### (3) 協議

○東京書籍の教科書が文法など詳しい内容になっている。

○小学校からのつながりを考えると東京書籍が良いのでは。

### (4) 採択

○北海道に行くことについての対話を位置付けたり、北海道に生息する動物を取り扱ったりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げる「学び方コーナー」(全学年)や、「Key Sentence・Today's Point 一覧」(全学年)を設けたり、巻末に「学習をふり返ろうーCAN-DO リストー」(全学年)を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような構成となっている。

このような理由から「東京書籍」とする。(全会一致)

## 《道徳》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

### (2) 質疑

○道徳モラルやいじめ、北海道にゆかりのある教材を見るとそれぞれの扱い方に特色があると思うが、指導上のことで話題は出たか。

→いじめについては継続して子どもたちが考えられる構成になっており、モラルについても1回きりでは終わらず学年を追って深めていくような内容になっている。

3年間を見据えた教科書のつくりになっているという意見が出た。

○北海道の教材に関して教育出版とあかつきで「小檜山博さんの地下鉄で」を扱っているが、扱う学年が違うため理解力にも差があると思うがどうか。

→子どもたちの心の成長の段階に応じて同じ教材でも取り扱う学年が違うということは話題になった。

### (3) 協議

○各社とも内容に大きな差はない。

### (4) 採択

○各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳の授業はこんな時間に」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような内容となっている。

このような理由から「東京書籍」とする。(全会一致)

## 《技術・家庭（技術分野）》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

### (2) 質疑

○専門外の教員が指導し易いのは教育図書ということか。

→技術を教えている教員から東京書籍は教えやすいだろう、開隆堂は技術・家庭科ともに専門的な部分も多く免許外の教員が扱うことは難しいのではないかという意見があった。

家庭科については教育図書が見やすく教えやすいと思う。

○技術と家庭科の教科書の出版社が別々だと困るというのは、生徒的に問題がなければ変えた方がいいのか、変わらない方がいいのか。

→別々に採択できるのであれば別々の方が良いという意見が多かった。技術・家庭科を同じ教員が教えるという学校が少ないので、特に2教科につながりもないので分けて採択できればという意見だ。

### (3) 協議

○技術・家庭科の教科書を別々で採択することが望ましい。

○免外の先生が多い中では東京書籍が見やすく教えやすいという意見があった。

### (4) 採択

○安全性や経済性など多角的な視点で技術を捉えることができる「最適化の窓」を示したり、学習を広げ、深めることができる資料を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○各節の冒頭に考えたり、話し合ったりする「始めの活動」や、学習した内容をまとめ、生活に生かすことができる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような内容となっている。

このような理由から「東京書籍」とする。(全会一致)

## 《技術・家庭（家庭分野）》

### (1) 報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

### (2) 質疑

○専門外の教員が指導し易いのは教育図書ということか。

→技術を教えている教員から東書は教えやすいだろう、開隆堂は技術・家庭科ともに専門的な部分も多く免許外の教員が扱うことは難しいのではないかという意見があった。家庭科については教育図書が見やすく教えやすいと思う。

○技術と家庭科の教科書の出版社が別々だと困るというのは、生徒的に問題がなければ変えた方がいいのか、変わらない方がいいのか。

→別々に採択できるのであれば別々の方が良いという意見が多かった。技術・家庭科を同じ教員が教えるという学校が少ないので、特に2教科につながりもないので分けて採択できればという意見だ。

○家庭分野で東京書籍の構成が「B衣食住の生活」、「C消費生活・環境」、「A家族・家庭生活」という順に配置されているが、年間指導計画の中で教科書の後ろの方の家庭生活の方を先に教えるということは可能か。

→必ずしも順番に教えるわけではなく、Aの部分を最初にもってきたいという意見の教員もいた。

### (3) 協議

○技術・家庭科の教科書を別々で採択することが望ましい。

○免外の先生が多い中では教育図書が見やすく教えやすいという意見があった。

### (4) 採択

○「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう」「メッセージ」などを掲載したり、中学生キャラクターや教師キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める内容となっている。

○学習のまとめりごとに自己評価する「ふり返る」や、学んだことを実生活につなげる「学びを生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような内容となっている。

このような理由から「教育図書出版」とする。(全会一致)

《特別支援》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について(調査報告書のとおり)

(2) 質疑

特になし

(3) 協議

○新たに掲載された10点については、どれも生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるよう配慮されており、すべてを採択すべきである。

○生徒の実態・特性に応じた指導をするため、選択肢は多い方が望ましい。

(4) 採択

今回新たに調査・研究をした10点全てを採択する。(全会一致)

## 5 採択にかかわる諸事項

### 《会長》

事務局より採択にかかわる諸事項の説明をお願いします。

### 《事務局》

#### (1) 各市町村教育委員会にける採択手続きについて

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条」で「当該採択地区内の市町村の教育委員会は、協議して種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない。」と定められていることから、令和3年度から使用する中学校用教科用図書については、今回の協議会での決定に基づき、各市町村教育委員会において、同一の教科書を採択する手続きを進めていただきます。

また、令和3年度に使用する小学校用教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定により、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされておりますので、各教育委員会においては、令和2年度と同一の教科用図書を使用する採択を行ってください。

採択期限は8月31日までとなっております。

#### (2) 学校教育法附則第9条の規定に基づく採択手続きについて

「学校教育法附則第9条」により、特別支援学級の児童・生徒については、別の教科用図書を使用することができることとなっております。

さきほどの新たに加えられた10冊の一般図書の調査・研究報告を踏まえ、北海道教育委員会発行の「令和3年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書(一般図書)採択参考資料」に掲載されている図書全てを採択する手続きを進めていただくこととなります。

#### (3) 情報公開について

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の一部を改正する法律」及び「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行規則の一部を改正する省令」により、各市町村教育委員会において、採択後に公表すべき事項が定められました。

つきましては、各市町村において、適切に情報公開していただきますよう、お願いいたします。

なお、公表すべき事項につきましては、事務局において、協議会の決定結果及び決定理由、協議会委員名簿、調査委員名簿、調査報告書、協議会議事録をホームページにて公表いたします。

各町村においては、昨年度同様、自治体のホームページ内に稚内市ホームページのリンクを作成していただきます。詳細につきましては、後日お知らせいたします。

請求により公表する事項につきましては、これまで同様、事務局の稚内市で公表しますので、各教育委員会へ請求がありましたら請求者にその旨伝えていただくとともに、事務局までご連絡ください。

公開の時期については、9月1日を予定しております。

令和2年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録

開催日 令和2年8月4日(火)

場 所 稚内総合文化センター 小ホール

《会長》

事務局からの説明に質問等はないか。

《委員》

なし(了承)

閉会

令和 2年 8月19日

議事録署名人

岡本誠也 